

# なぞとき音楽ドリル 3年⑥

3年 組 名前

## 五線

きょうかしよ 教科書9ページを見て、<sup>み</sup>五線について、せいりしましょう。

<sup>ことば</sup>には言葉を、また五線には<sup>ごせん</sup>ドから順に高くなるよう4分音ぶを書き入れましょう。

<sup>ごせん</sup>五線は  <sup>あらわ</sup>を表すために使われる<sup>つか</sup>五本の線です。

<sup>か</sup>加線を使って、さらに<sup>たか</sup>高い音や<sup>おと</sup>ひくい音を<sup>あらわ</sup>表すこともできます。

## ト音記号

<sup>おん きごう</sup>ト音記号は、アルファベットの「G」の形を変えたもので、<sup>だいにせん</sup>第二線の下から<sup>か</sup>書きます。<sup>だいにせん</sup>第二線が「G (ソ)」の音であることを示して、その<sup>おと</sup>楽ぶが<sup>しめ</sup>表す<sup>がく</sup>音の高さを<sup>あらわ</sup>分かるようにしています。むかしの日本では「ソ」の音のことを「ト」とよんでいたのので、「ト音記号」とよぶようになりました。

## なぞとき⑩

<sup>おと</sup>音の高さの順に線で結び、  
<sup>どうぶつ</sup>のこった動物の出てくる曲を  
<sup>きょうかしよ</sup>教科書からさがしましょう。